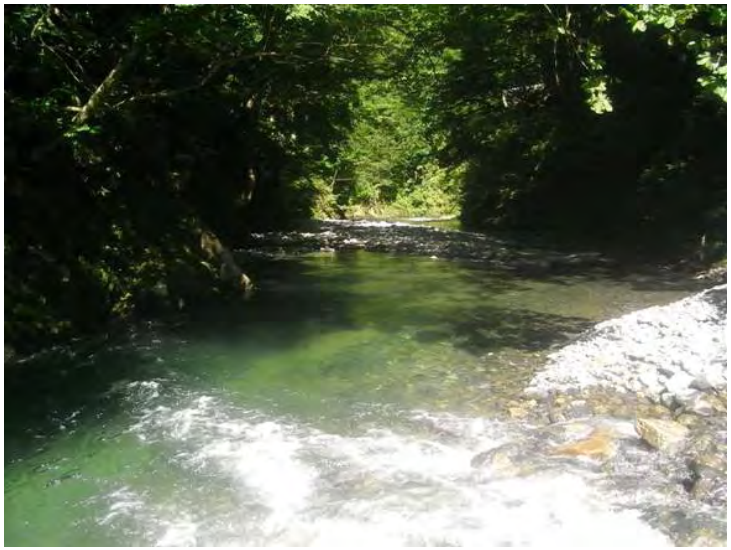
川あそび 編



第一章

川あそびの前に・・・　*川あそびの注意点*

佐梨川や奥只見には、川あそびにおすすめの場所がたくさんあります。どれもわくわくするような楽しいところです。どんどん川に入って川に親しんでほしいと思います。

でも、川は危険なところです。川のことをよく知らないと、突然の増水で流されてしまったり、深みにはまっておぼれたりすることだってあります。川で楽しむために、川の怖いところもよく知っておく必要があります。

そこで、まずはじめに、川で遊ぶ時に特に気をつけなければいけないことを知っておきましょう。

10分に１回は上流の天気をみよう

渓流で特に気をつけなければいけないことのひとつに、天気があります。最近よく耳にする「ゲリラ豪雨」は、ごく狭い範囲の中で物凄い雨が降ることです。遊んでいる場所では雨が降っていなくても、上流で激しい雨が降っている場合があります。その場合は、一気に川の水かさが増えて、逃げる間もなく流されてしまうこともあります。川で遊ぶ時は、いつも上流のほうの空に注意して、黒雲がみえたり、カミナリが聞こえたりしたら、その場所はたとえ晴れていてもすぐに川からあがりましょう。

また、川で遊んでいる時に、急に落葉やゴミがたくさん流れるようになったり、水が濁ってきたりしたら、上流で水かさが増えている証拠です。迷わず川から上がりましょう。

また、渓流では「鉄砲水」という恐ろしい現象もあります。これは、上流のほうで流木などが引っかかりダムのようになって、一時的に川の水をせき止めるのですが、水圧に耐え切れなくなって一気に崩壊し、下流へ大量の水を押し流す現象です。川の水をせき止めている間は、下流では急に水かさが減ります。このため、川の水かさが急に下がった場合は、鉄砲水の前兆なので、一刻も早く川から上がって、できる限り高いほうに避難してください。木が生えていないような場所は、過去に鉄砲水の影響を受けた可能性があるので、必ず、大きな木が生えている高さよりも上に避難します。

コンクリートの堰堤などは特にあぶない！

佐梨川の流域や、只見川の流域では、コンクリートの堰堤やダムがしばしば見受けられます。それらの上流は川の流れがゆるやかで深くなっている場合がよくありますが、水の落ち口に近いところでは、急に流れが速くなります。流れに吸い込まれると、そのまま下流に落ちて叩きつけられてしまいます。このため、堰堤の上流では、落ち口に近づかないことが大切です。

ダムの下流では放水に注意！

佐梨川や只見川流域には発電所ダムや農業用水取水用のダムがいくつかあります。ダムでは水を少なくするときには、下流に大量に放水します。また、ダムに水をためるときには下流へ水を流しませんが、いっぱいになるとふたたび放水をはじめます。このように、ダムの下流では天気に関わらず、急に水が増えることがあります。

ダム放水の合図（サイレンなど）はどこにいても聞こえるわけではありません。川の水が増えてきたと感じたら、すぐに川から上がりましょう。また、ダムのすぐ下流はあぶないので、遊ばないようにしましょう。

流れのようすをチェックしよう

流れが速い淵や岩陰などの複雑な地形の淵では、強力な渦が発生していることがあります。巻き込まれると水中から上がってこれなくなることがあります。水面に少しでも渦がみられたら、そこには近づかないようにしましょう。

また、速い流れの場所でも、足をとられて下流に流されてしまうことがあります。特に、膝から上よりも深い場所では、注意が必要です。

捨てられた釣り針・糸は、隠れたワナ

佐梨川流域や只見川流域では、渓流釣りが盛んですが、時々取り残された釣り糸や釣り針をみかけます。釣り糸などは見えにくいので、足に絡まって自由がきかなくなってしまうと大変危険です。川に入る前には周囲の状況をよく確認しましょう。

不安定な石や滑る石・・・足元には注意！

川という場所は、そもそも足元の悪い場所です。不安定な石の上に乗ればバランスを崩すし、濡れた石や藻が付いた石は大変滑りやすくなっています。さらに、川岸に草が生えているような場所ではどこまでが地面かよく見えないこともあります。

常に足元に気をつける習慣を身につけましょう。また、とっさの時に対応しやすいように、両手を自由にしておくことが大事です。

一人では絶対に川に行かない！

このように、川には危険がつきものです。一人で川に遊びに行って、もしものことがあった場合には、発見が遅れて助からないこともあり得ます。川に遊びに行くときには、大人と一緒に行きましょう。

また、人がおぼれているときに、助けようとしてむやみに川に入ると二重の事故になることもあります。川に入って助けにいくのは危険だと感じたら、ロープや浮き輪、無ければ木の枝などを使って、陸から救助するか、周りに助けを求めてください。川遊びに行くときには、救助用にロープと浮き輪を持っていくように心がけましょう。

参考　洪水はどのくらいの時間でやってくる？

たとえば、佐梨川の銀嶽橋よりも上流（面積は 28.6km2)の狭い範囲で集中的に豪雨があったとします。この豪雨によって洪水が起こったとすると、どのくらいの時間で洪水はやってくるでしょうか？

洪水が、ある地点にやってくる時間を「洪水到達時間」といいます。佐梨川では実際の洪水の観測記録はありませんが、計算によっておおよその洪水到達時間を推定することができます。

銀嶽橋から下流の代表的な地点（次章の川あそび・渓谷さんぽポイントを含む）の洪水到達時間を下の表に整理しました。豪雨の降り方によっても洪水到達時間は異なりますが、表の時間は、想定される洪水のうちで比較的短時間でやってくる場合のものです。

表にみるように、大湯よりも上流では、雨が降り始めてから 10 分～20 分以内で洪水がやってくることになります。このことから、どこで遊ぶにしても 10 分に 1 回くらいの頻度で上流の天気を確認する習慣をつけ、雨雲が見えたらすぐに川から上がって安全な場所に移動することが重要です。

表　銀嶽橋から上流域で集中豪雨があった場合の洪水到達時間（推計値）

地点	対応する川あそびポイント（次章参照）	銀嶽橋からの水平距離	河床高	洪水到達時間
		（m）	（m）	（分）
銀嶽橋		0	307	
大手沢合流	渓谷さんぽ2　銀嶽橋下流	150	303	10
栃尾又沢合流	渓谷さんぽ1　栃尾又沢合流	1670	272	15
見返り橋	川あそび5　見返り橋下流	2090	269	16
大湯堰堤		2230	261	16
大湯温泉脇		2465	256	17
大湯公園脇		2980	248	18
下折立マレットゴルフ場付近		4713	226	24
宇津野堰堤		6050	204	28
猿跳橋		7440	189	32
白山大橋	川あそび4　蓑和田河川公園	8310	180	35
芋川橋		9240	175	38
滝ノ上橋	川あそび3　滝ノ上橋付近	11370	143	45
野口橋	川あそび2　吉田橋から野口橋	12515	133	49
新佐梨橋	川あそび1　ビハーラ佐梨川	15277	104	58